

東商けいきょう集計結果

(中小企業の景況感に関する調査)

平成25年1～3月期

【主なポイント】

～東京の景況は改善、先行きに対する期待感も高まる～

- 「業況 DI」(全業種)は、前回調査に比べ+4.9ポイント(前年同期比▲20.8→▲15.9)改善した。業種別にみると、建設業は公共工事等の増加により、調査開始以来初めてプラスに転じた(前年同期比▲1.5→2.6)。来期見通しも、前回調査に比べ+12.6ポイント(前年同期比▲20.6→▲8.0)となり、大幅に改善している。
- 「売上 DI」(全業種)は、+6.0ポイント(前年同期比▲21.3→▲15.3)改善し、業種別にみると、サービス業の回復幅が大きい(▲14.6→▲0.8)。来期見通しも、前回調査に比べ+16.8ポイント(前年同期比▲20.4→▲3.6)と大幅に改善している。
- 「採算 DI」(全業種)は、+6.7ポイント(前年同期比▲26.5→▲19.8)改善した。今期水準は、前回調査に比べ+3.4ポイント(3.4→6.8)改善し、4期連続で黒字超を維持した。
- 「資金繰り DI」(全業種)は、+0.9ポイント(前年同期比▲13.0→▲12.1)と横ばいとなった。

【調査要領】

- 調査期間：平成25年2月23日～3月1日
- 調査対象：東京23区内の中小企業2382社
- 調査項目：業況、売上、採算(経常利益)、資金繰り、民間金融機関の貸出姿勢
- 調査方法：FAXおよび経営指導員による聴き取り
- 回答数：1035社(回答率43.5%)

※有効回答企業の業種別構成

- | | | |
|-------------------|---------------------|-------------------|
| ・製造業 261社 (25.2%) | ・建設業 118社 (11.4%) | ・卸売業 161社 (15.6%) |
| ・小売業 123社 (11.9%) | ・サービス業 372社 (35.9%) | |

平成25年3月

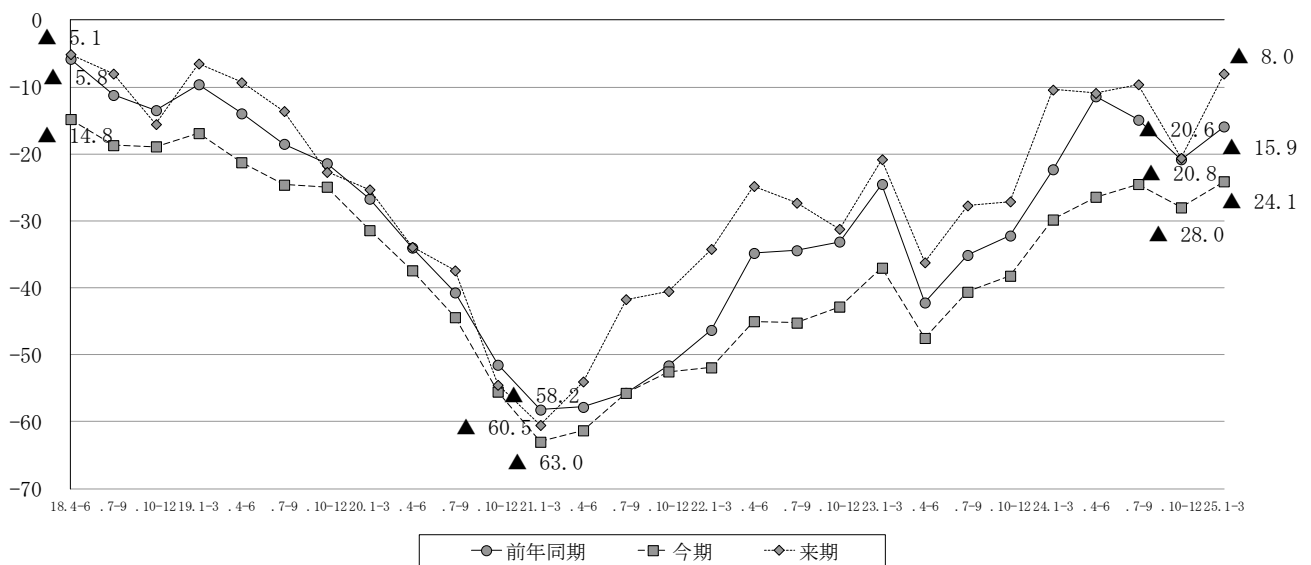
東京商工会議所 中小企業部

1. 業況

○「業況DI」(全業種)は、前回調査に比べ+4.9ポイント(前年同期比▲20.8→▲15.9)改善した。業種別にみると、円安の影響等を受けて、製造業や小売業では改善幅が大きい(+7.5)。建設業は、公共事業の増加が続いていることから改善が進み、調査開始以来初めてプラスとなった。一方、卸売業は、調査対象に輸入企業の割合が多く、円安による影響から唯一悪化となった(▲19.5→▲24.2)。

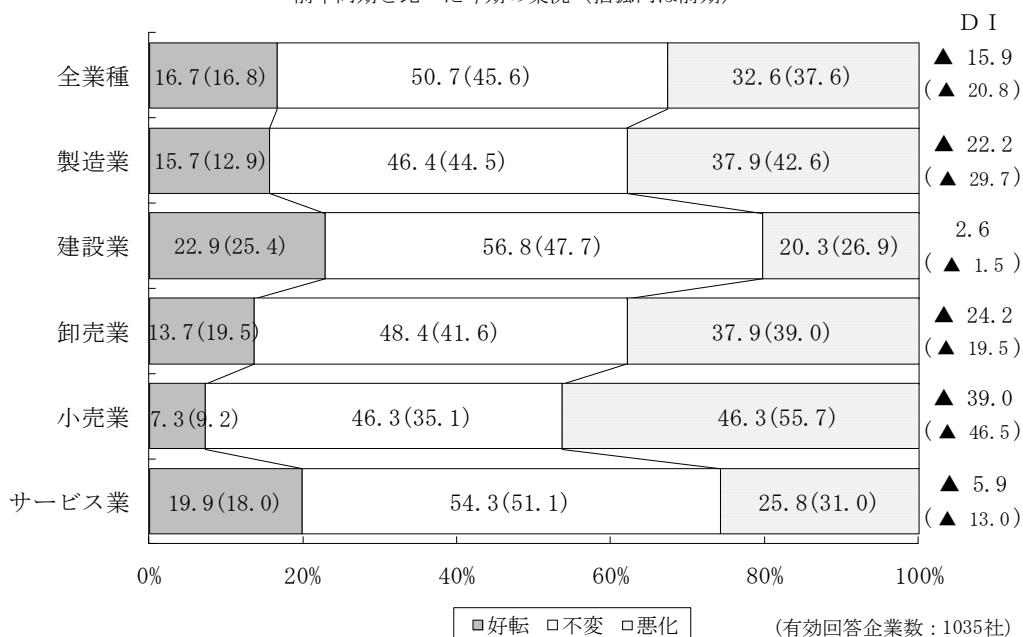
来期見通しも、前回調査に比べ+12.6ポイント(前年同期比▲20.6→▲8.0)となり、大幅に改善している。

業況DIの推移(全業種)

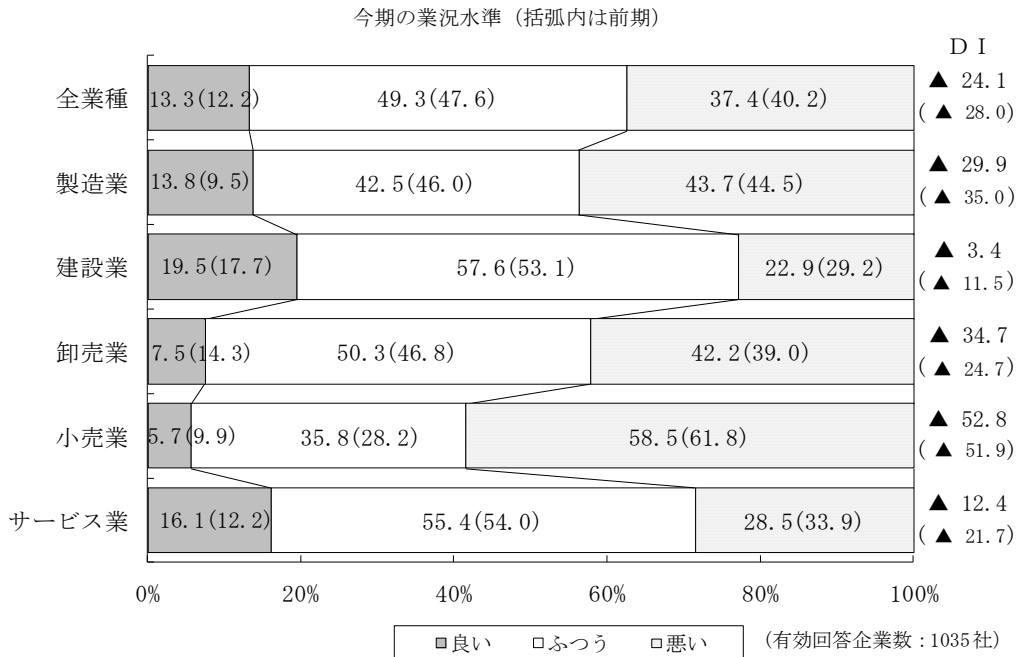


【質問1】前年同期(平成24年1~3月期)と比べた今期(平成25年1~3月期)の業況(自社)はどうか。

前年同期と比べた今期の業況(括弧内は前期)

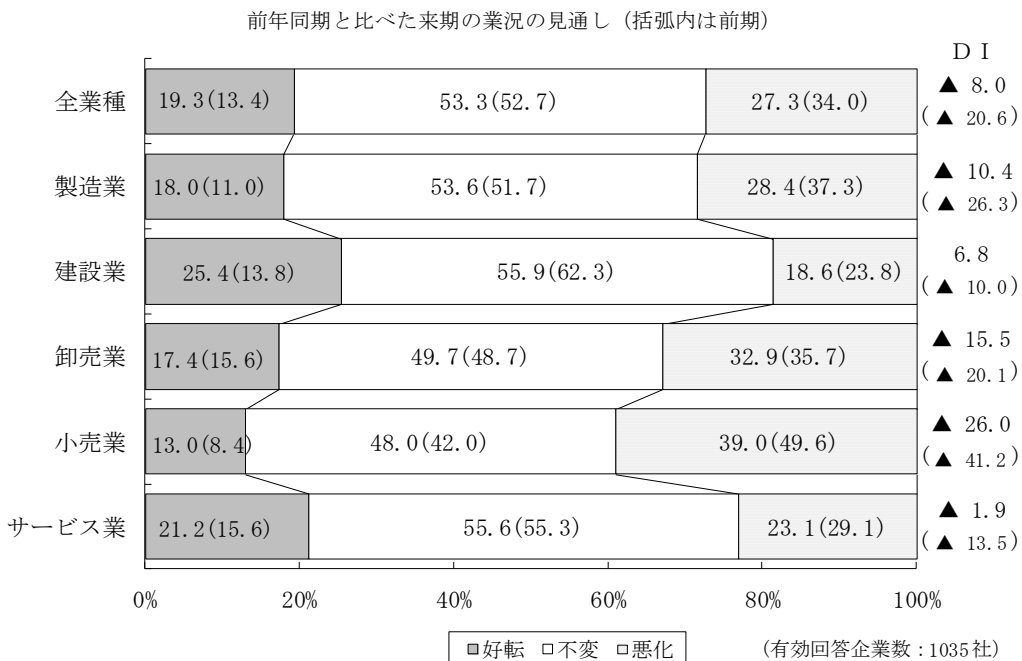


【質問2】 今期（平成25年1～3月）の業況（自社）水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の業況水準DI」は、▲24.1（前回調査比+3.9ポイント）と改善した。
- ・業種別では、サービス業（▲21.7→▲12.4）で+9.3ポイント、建設業（▲11.5→▲3.4）で+8.1ポイント改善した。卸売業（▲24.7→▲34.7）は-10.0ポイント悪化した。

【質問3】 前年同期（平成24年4～6月期）と比べた来期（平成25年4～6月期）の業況（自社）の見通しはどうか。



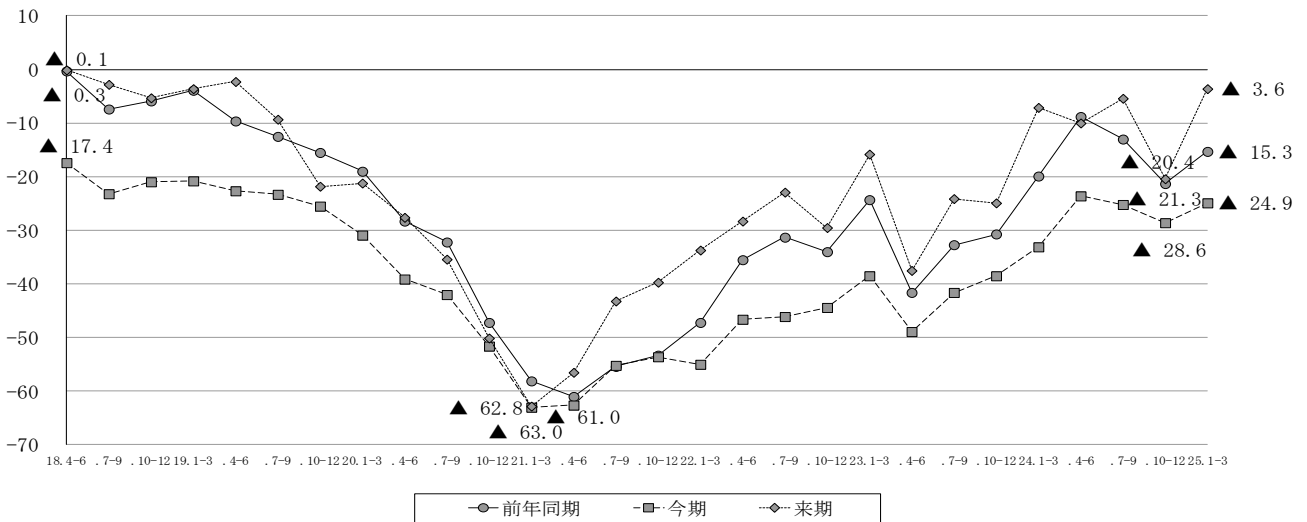
- ・全業種の「前年同期と比べた来期の業況見通しDI」は、▲8.0（前回調査比+12.6ポイント）と大幅な改善を見込む。
- ・業種別では全ての業種で改善を見込み、特に建設業（▲10.0→6.8）で+16.8ポイントとプラスに転じた。製造業（▲26.3→▲10.4）で+15.9ポイント、小売業（▲41.2→▲26.0）で+15.2ポイントと大幅な改善を見込む。

2. 売上

○「売上DI」(全業種)は、+6.0ポイント(前年同期比▲21.3→▲15.3)改善し、業種別にみると、サービス業の回復幅が大きい(▲14.6→▲0.8)。

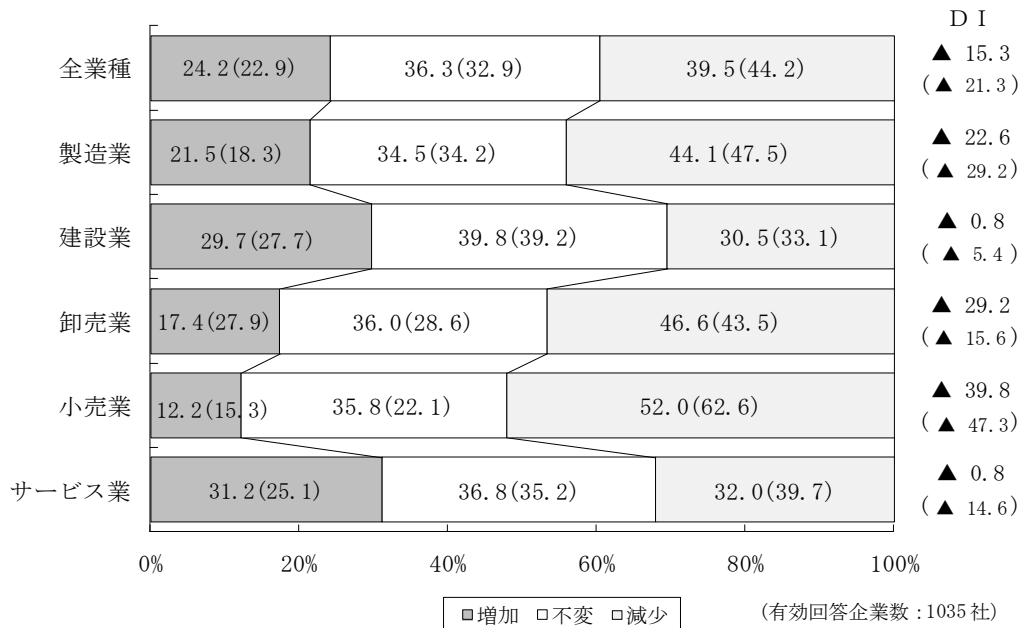
来期見通しも、前回調査に比べ+16.8ポイント(前年同期比▲20.4→▲3.6)と大幅に改善している。

売上DIの推移(全業種)



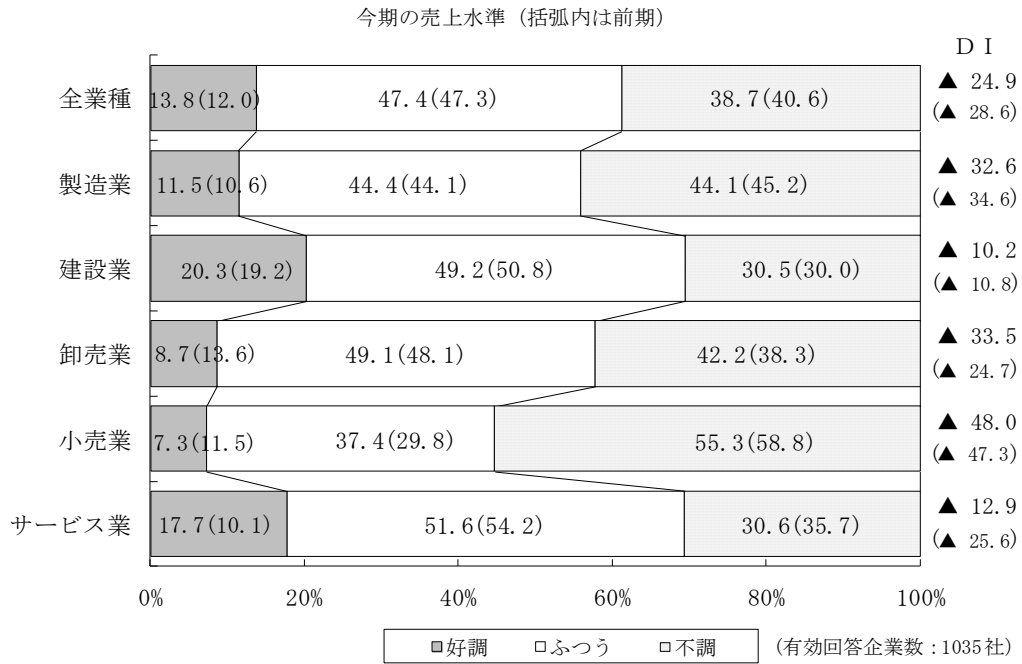
【質問4】前年同期(平成24年1~3月期)と比べた今期(平成25年1~3月期)の売上状況はどうか。

前年同期と比べた今期の売上状況(括弧内は前期)



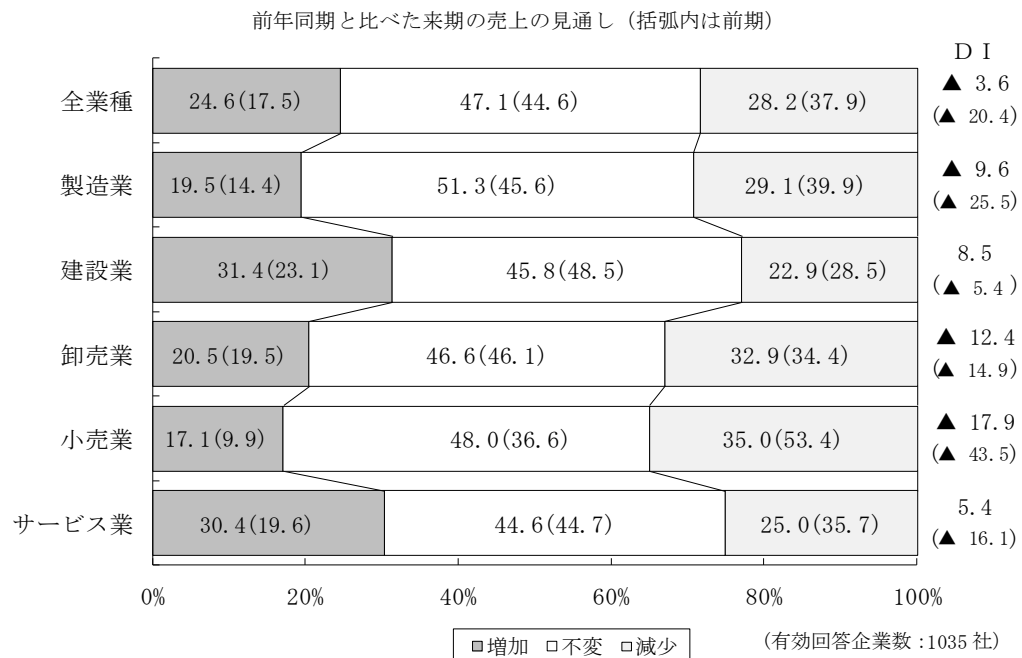
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の売上DI」は、▲15.3(前回調査比+6.0ポイント)と改善した。
- ・業種別では、サービス業(▲14.6→▲0.8)で+13.8ポイントと大幅に改善した。

【質問5】 今期（平成 25 年 1～3 月期）の売上水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の売上水準DI」は、▲24.9（前回調査比+3.7ポイント）と改善した。
- ・業種別では、サービス業（▲25.6→▲12.9）で+12.7ポイントと大幅に改善した。卸売業（▲24.7→▲33.5）は-8.8ポイント悪化した。

【質問6】 前年同期（平成 24 年 4～6 月期）と比べた来期（平成 25 年 4～6 月期）の売上の見通しはどうか。

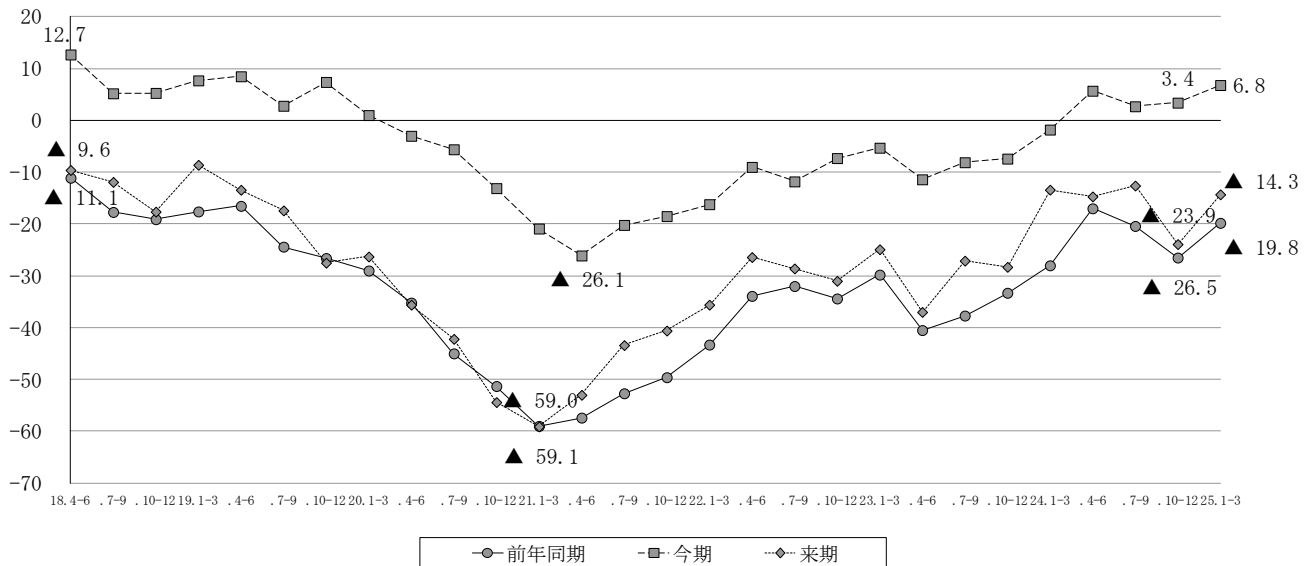


- ・全業種の「前年同期と比べた来期の売上見通しDI」は、▲3.6（前回調査比+16.8ポイント）と大幅な改善を見込む。
- ・業種別では、全ての業種で改善、卸売業を除く4業種で10ポイント以上改善する見込み。特に小売業（▲43.5→▲17.9）で+25.6ポイント、サービス業（▲16.1→5.4）で+21.5ポイントと大幅な改善を見込む。

3. 採算（経常利益）

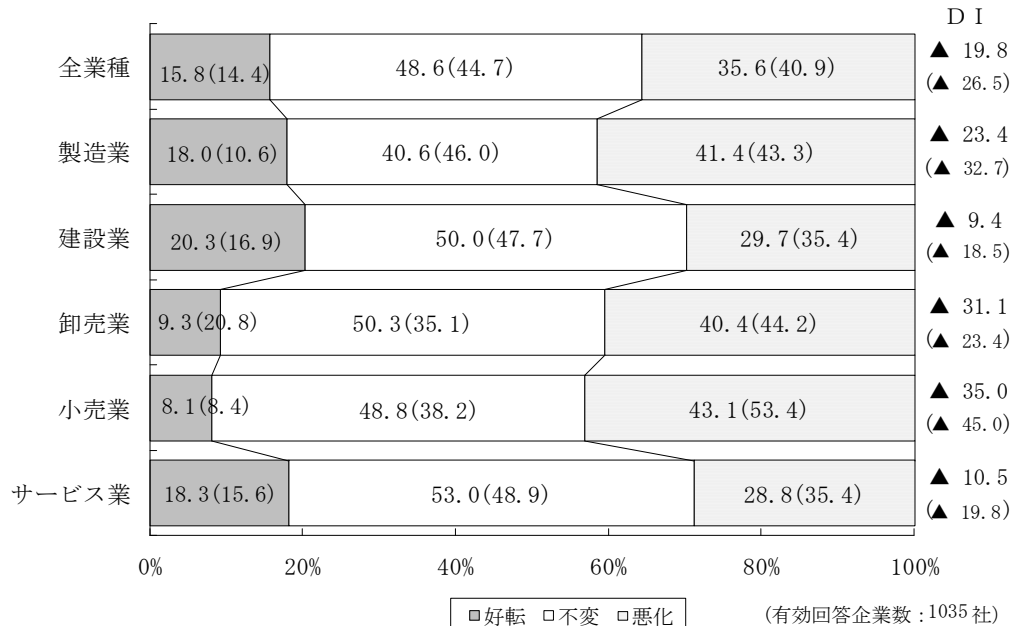
○「採算 DI」（全業種）は、+6.7ポイント（前年同期比▲26.5→▲19.8）改善した。今期水準は、前回調査に比べ+3.4ポイント（3.4→6.8）改善し、4期連続で黒字超を維持した。

採算DIの推移（全業種）



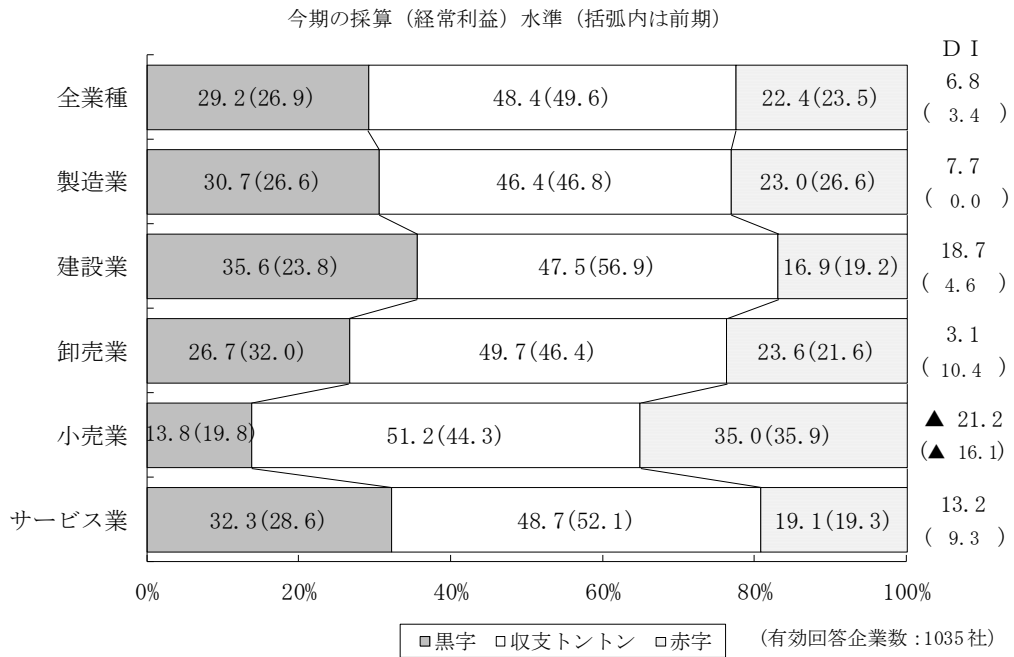
【質問7】前年同期（平成24年1～3月期）と比べた今期（平成25年1～3月期）の採算（経常利益）状況はどうか。

前年同期と比べた今期の採算（経常利益）状況（括弧内は前期）



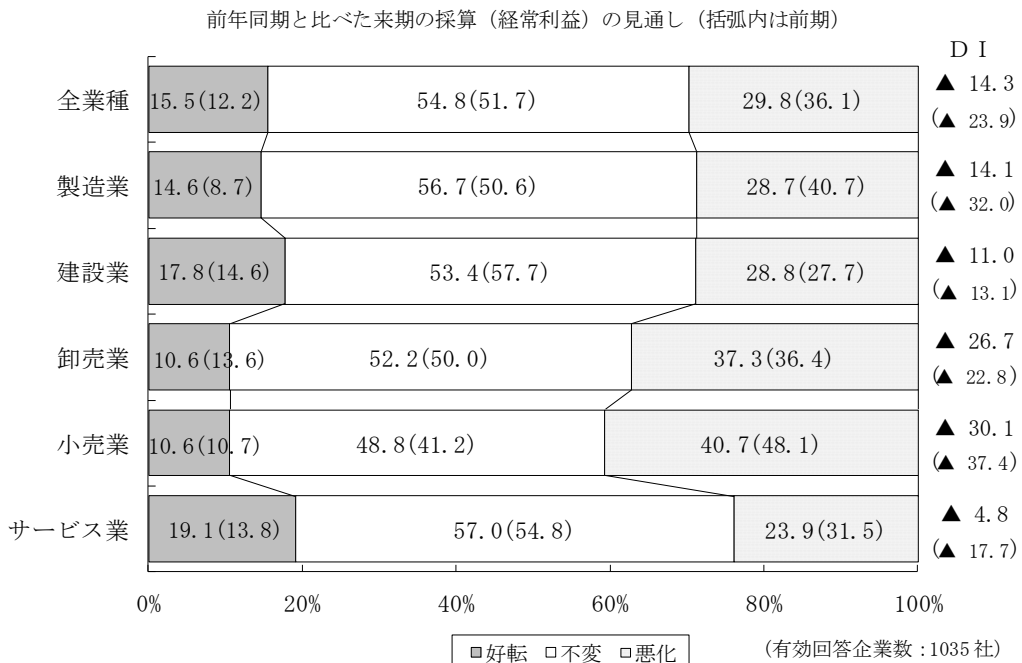
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の採算DI」は、▲19.8（前回調査比+6.7ポイント）と改善した。
- ・業種別では、卸売業を除く4業種で改善した。特に小売業（▲45.0→▲35.0）で+10.0ポイントと大幅に改善した。卸売業（▲23.4→▲31.1）は-7.7ポイント悪化した。

【質問8】 今期（平成 25 年 1～3 月）の採算（経常利益）水準はどうか。



- ・全業種の「今期の採算水準DI」は、6.8（前回調査比+3.4ポイント）と4期連続で黒字超を維持した。
- ・業種別では、建設業（4.6→18.7）で+14.1ポイントと大幅に黒字超が拡大した。卸売業（10.4→3.1）は-7.3ポイント、小売業（▲16.1→▲21.2）は-5.1ポイント悪化した。

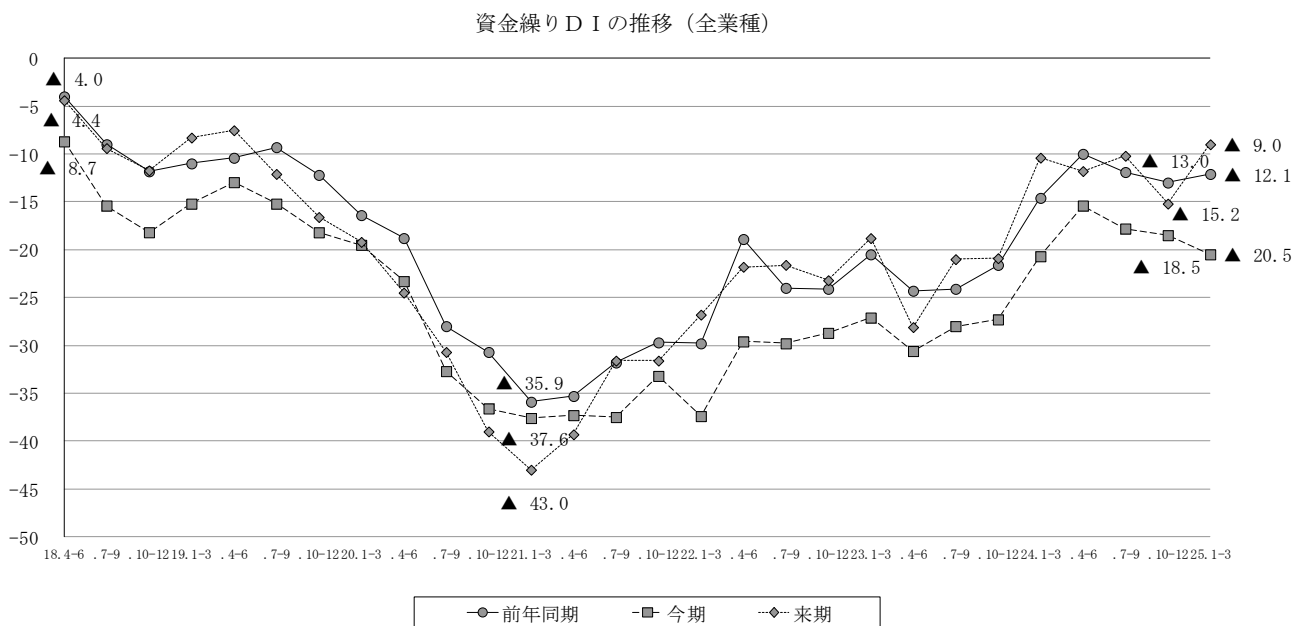
【質問9】 前年同期（平成 24 年 4～6 月期）と比べた来期（平成 25 年 4～6 月期）の採算（経常利益）の見通しはどうか。



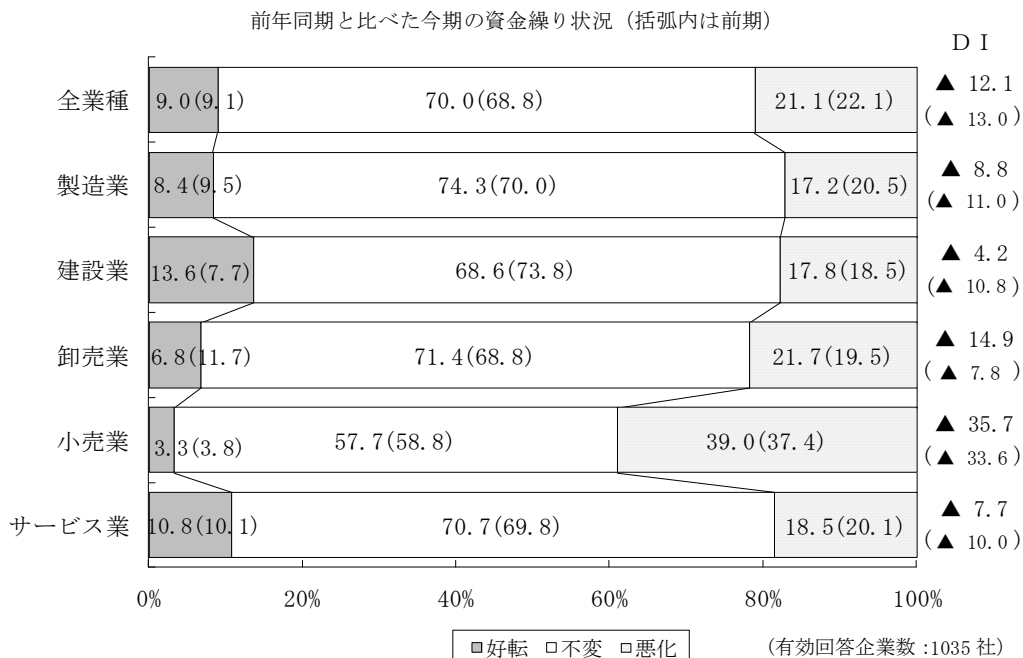
- ・全業種の「前年同期と比べた来期の採算見通しDI」は、▲14.3（前回調査比+9.6ポイント）と改善を見込む。
- ・業種別では、製造業（▲32.0→▲14.1）で+17.9ポイント、サービス業（▲17.7→▲4.8）で+12.9ポイントと大幅な改善を見込む。卸売業（▲22.8→▲26.7）は-3.9ポイントと悪化を見込む。

4. 資金繰り

○「資金繰りDI」(全業種)は、+0.9ポイント(前年同期比▲13.0→▲12.1)と横ばいとなった。

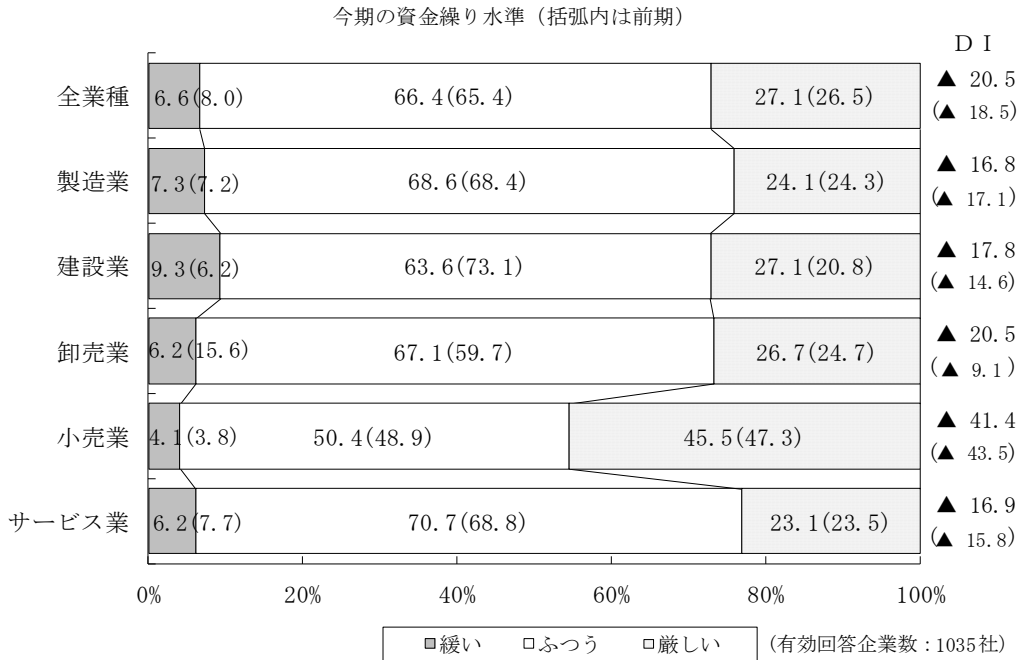


【質問10】前年同期(平成24年1~3月期)と比べた今期(平成25年1~3月期)の資金繰り状況はどうですか。



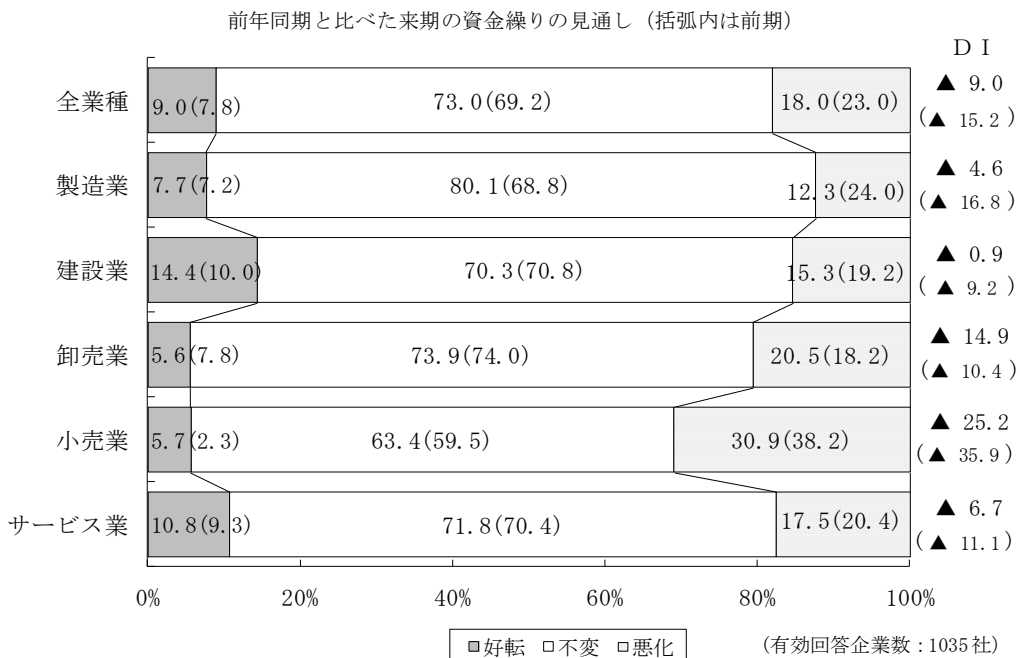
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の資金繰り水準DI」は、▲12.1(前回調査比+0.9ポイント)と横ばいとなった。
- ・業種別では、卸売業(▲7.8→▲14.9)で-7.1ポイント悪化した。

【質問 1 1】 今期（平成 25 年 1～3 月期）の資金繰り水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の資金繰り水準 DI」は、▲20.5（前回調査比-2.0 ポイント）とわずかながら悪化した。
- ・業種別では、卸売業(▲9.1→▲20.5)で-11.4 ポイント悪化した。

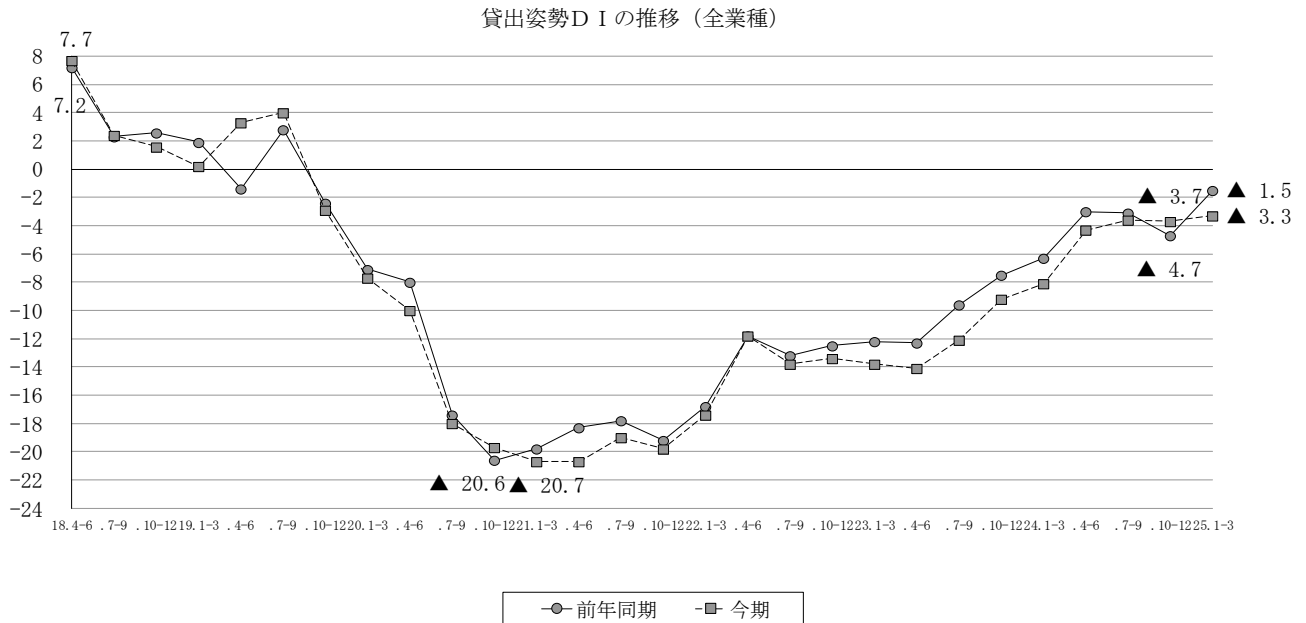
【質問 1 2】 前年同期（平成 24 年 4～6 月期）と比べた来期（平成 25 年 4～6 月期）の資金繰りの見通しはどうか。



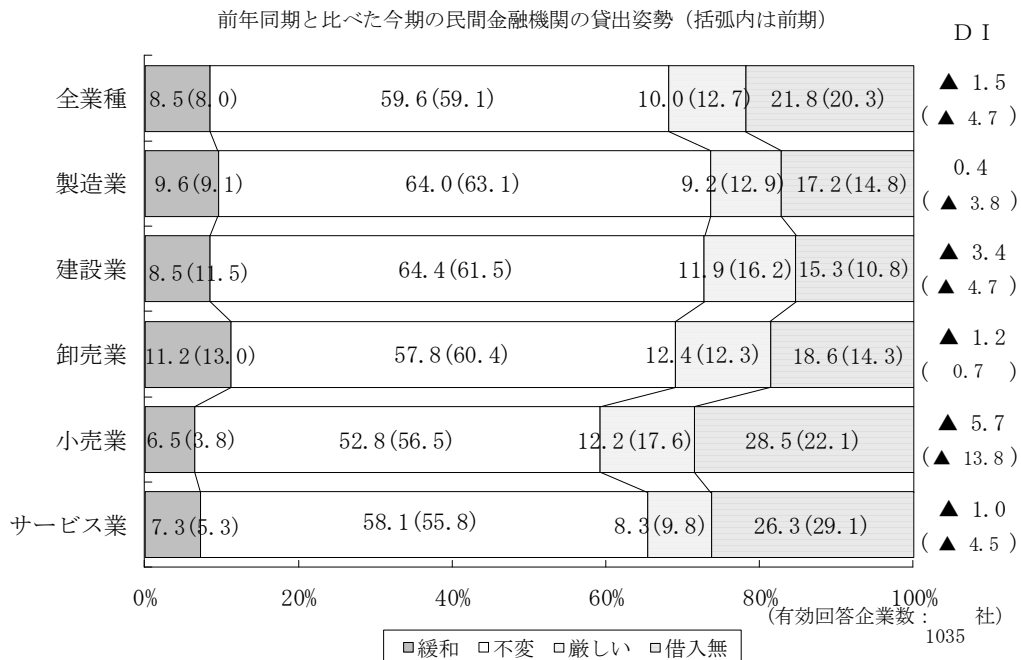
- ・全業種の「前年同期と比べた来期の資金繰り見通し DI」は、▲9.0（前回調査比+6.2 ポイント）と改善を見込む。
- ・業種別では、製造業（▲16.8→▲4.6）で+12.2 ポイント、小売業（▲35.9→▲25.2）で+10.7 ポイントと改善を見込む。卸売業（▲10.4→▲14.9）は-4.5 ポイントと悪化を見込む。

5. 民間金融機関の貸出姿勢

○「民間金融機関の貸出姿勢 DI」(全業種)は、+3.2ポイント(前年同期比▲4.7→▲1.5)改善した。今期水準も7期連続で改善しており、「借入無し」の割合が増える(20.2→22.0)など、貸出姿勢は着実に改善している。

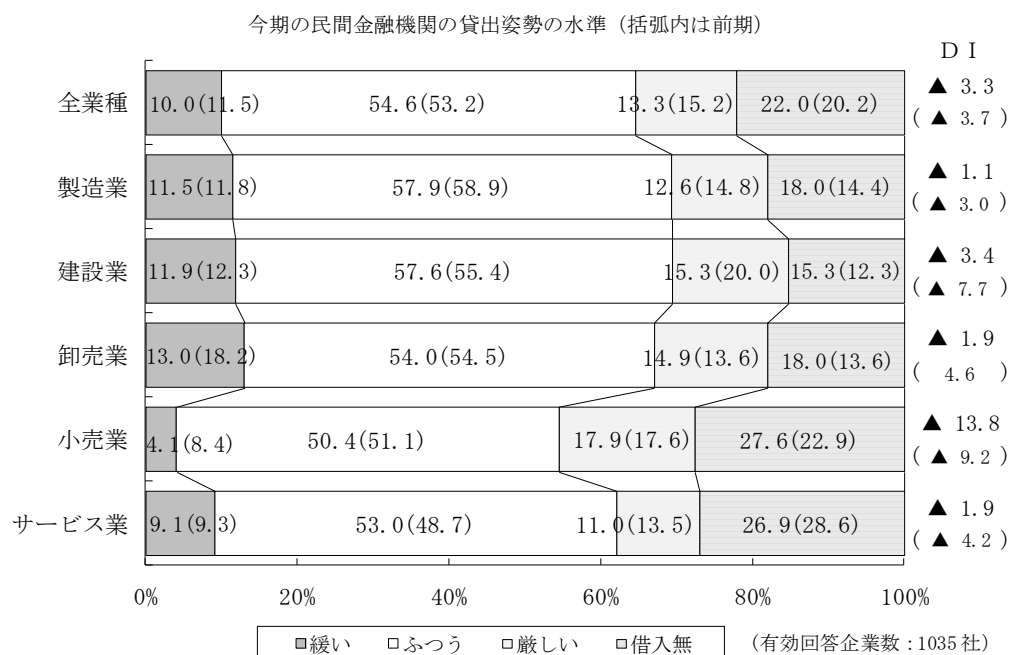


【質問13】前年同期(平成24年1~3月期)と比べて、今期(平成25年1~3月期)の民間金融機関の貸出姿勢は、変化がありましたか。



- ・全業種の「前年同期と比べた今期の民間金融機関の貸出姿勢 DI」は、▲1.5(前回調査比+3.2ポイント)と改善した。
- ・業種別では、小売業(▲13.8→▲5.7)で+8.1ポイント、製造業(▲3.8→0.4)で+4.2ポイント改善し、製造業はプラスに転じた。

【質問14】 今期（平成25年1～3月期）の民間金融機関の貸出姿勢の水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の民間金融機関の貸出姿勢DI」は、▲3.3（前回調査比+0.4ポイント）と改善した。
- ・業種別では、建設業（▲7.7→▲3.4）で+4.3ポイント改善し、サービス業を除くすべての業種で「借入なし」が増加し、改善がみられる。

- ※ 本集計結果におけるDI値とは、「好転」「良い」「増加」「好調」「黒字」「緩和」「緩い」とする企業の割合から、「悪化」「悪い」「減少」「不調」「赤字」「厳しい」とする企業の割合を差し引いた値を表す。
- ※ 全ての質問について、割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100.0%にならない。
- ※ 本調査結果の集計にあたっては、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施している「中小企業景況調査」の調査結果を一部活用している。